

## ～育苗管理について～

### 1 育苗パターン

「セル苗」を元に、「鉢上げ」（ポット移植）から「定植」までの作業を説明します。

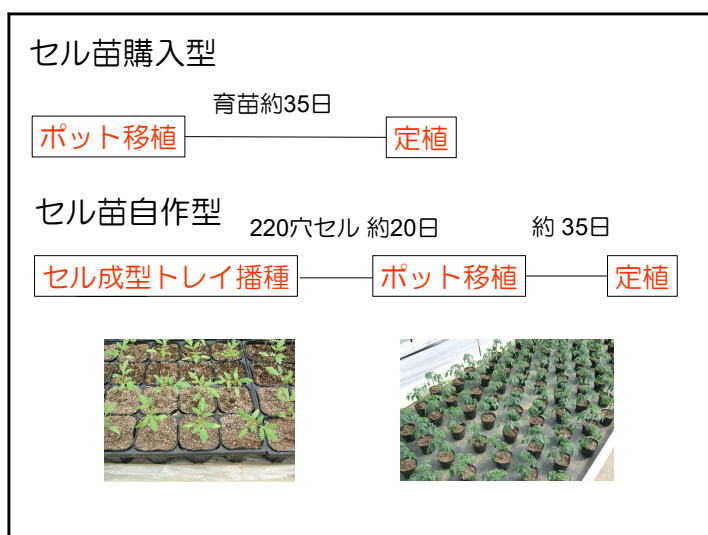


図1 育苗パターン

### 2 育苗床と培土の準備

#### (1) 育苗面積と設置レイアウト

鉢上げ後、約2週間で鉢ずらしを行うため、1株あたり15cm四方のスペースを確保します。(表1)

必要面積は10aあたり2,500株（2,250株の10%増し）とし、56㎡（0.15×0.15×2,500=56㎡）となります。

ハウスの中央に通路を据えて、両サイドに育苗床を設置します。(図2)

表1 10aあたりの育苗必要面積(12cmポットの場合)

区分	セルトレイ	ポット移植 (12cm)	鉢ずらし後
数量	13枚	2500鉢	2500鉢
面積	2.4㎡	36㎡	56㎡

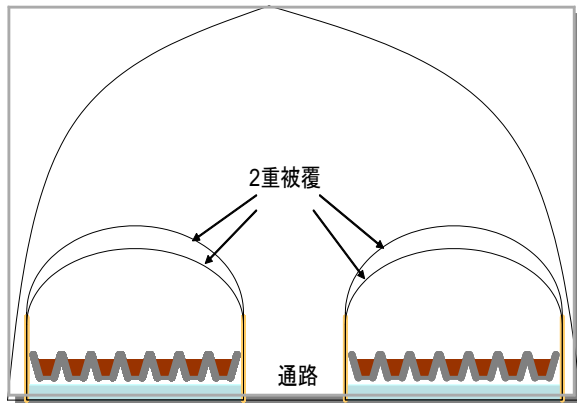


図2 育苗ハウス断面図

## (2) 育苗培土

育苗培土には「自家製培土」と「市販培土」に分かれます。

鉢上げポットを12cmとした場合、約2,500鉢分/10aが必要となるので、必要育苗土量は2.0m<sup>3</sup> /10a (780ml /ポット) となります。(図3)

「自家製培土」の場合は図3を参考に造成しましょう。

促成育苗土の準備 (12cm ポット 2,500 鉢分 /10a)

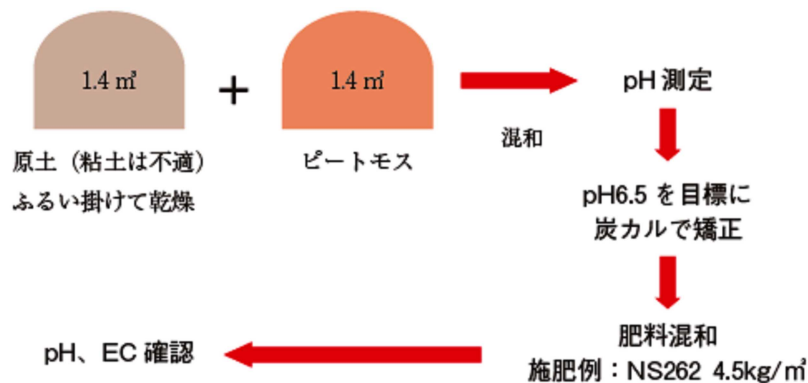


図3 「自家製培土」の作り方

## 3 土詰め

スピードポッター等を利用して「育苗培土」をポットに、すり切り一杯詰めます。

その後、十分にかん水し、ビニール被覆をして保温します (22℃)。

移植の5日前までには、終わらせましょう(図4)。

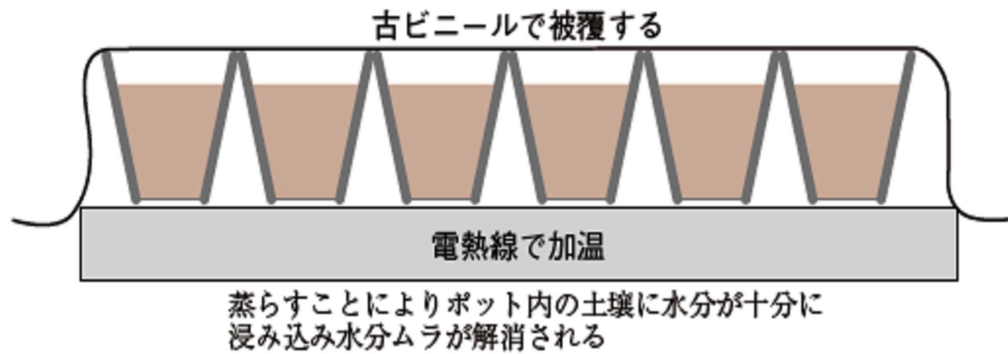


図4 土詰め後の被覆管理

#### 4 ポット移植の手順

(1) 被覆除去

移植前日に被覆を取り除き表面を乾かします。

(2) 根鉢の抜き取り

セルトレイにかん水して浸ませ、フォーク等を利用しセル苗を抜き取ります。

(3) 移植

ポットに植穴を開けて根鉢の上端が土壌表面と揃うように植えます(図5)。

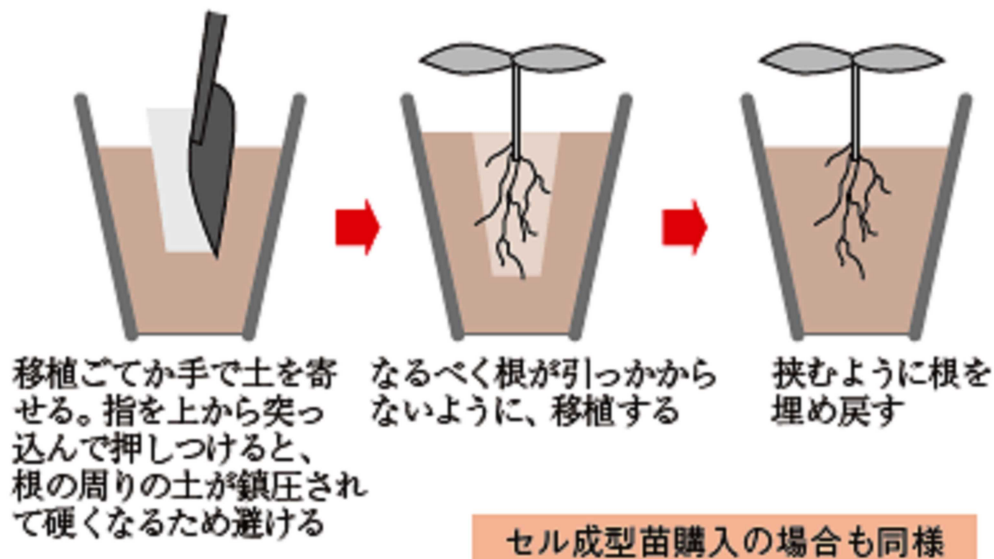


図5 移植の方法

(4) 移植時のかん水

移植直後に水を与えます。セル苗とポットの間の空気を抜いて、両者をなじませることを目的とし、水温は22℃程度が望ましいです。

また移植当日は保温のため、トンネル被覆はしたままとします。

## 5 温度管理

活着を早めるために移植直後は地温を高めに維持します。

ポット育苗前半(本葉3~5枚)は第1花房の着生位置の決定期に当たるので、最低気温13℃を確保します。

定植5日前から定植ハウスの気温に下げていきます。これを「順化」といいます。

表2 移植後の温度管理 単位℃

生育ステージ		活着まで	葉数3枚	葉数4枚目以降
目標気温	昼	23~25		
	夜	16~18	14~16	13~14
目標地温	昼	22	18~20	16~18
	夜			

## 6 鉢ずらし

葉が触れあわないように鉢ずらしを行い、徒長を防ぎます。

時期は移植14日後ころに実施します。

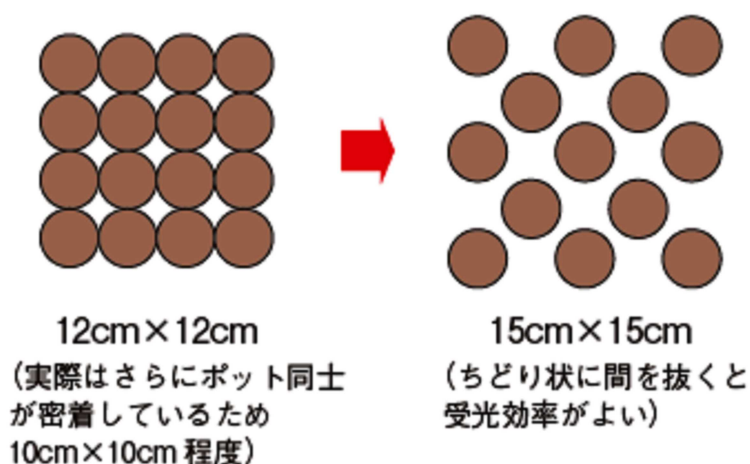


図6 鉢ずらし

## 7 水管理

基本は晴れた日の朝にかん水し、夕方にポット表面が乾くようにかん水します。

かん水の方法は、ホースの先端にシャワーヘッドアタッチメントをつけて、できるだけ培土を跳ね上げることなく株元に与えます。

## 8 追肥

育苗後半(鉢上げ後20日目ころ)から、下位葉から葉色が薄くなることがあり、その場合、追肥が必要となります。追肥方法と量は、鉢ずらしと同時におこない、NS262の場合は1g/鉢程度とします。

## 9 目標の苗姿

鉢上げ後、約30日ですぼみが形成されます。

苗型としては横から見て「均整型」が理想となります。



写真1 定植苗

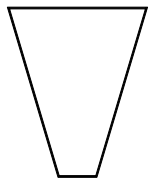

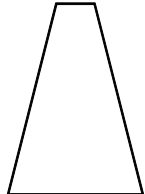
先細り型	均整型	先肥り型
		
△	○	×

図7 苗の型

### 定植時に目標とする苗の姿

草丈 25cm

葉数 12~13枚

茎径 8mm

第一花房の1~2花が開花